

平瀬川河口部分の土砂が急きよ撤去されることに

5月8日、国土交通省が5月中旬から6月中旬にかけて平瀬川河口部分の堆積した土砂の撤去を行うとの知らせが入りました。



土砂の撤去工事中



二子排水樋門の土砂

二子排水樋門付近も一緒に撤去を要請

同時に、小堀市議が12月と3月議会で質問した二子排水樋管の出口の土砂の撤去について、上下水道事業管理者は「現在も著しい土砂堆積が見受けられる。これまで国に要請してきたが引き続き関係局と連携しながら国に要請していく」と3月議会で答弁しています。

畠野衆議院議員事務所から京

浜河川事務所に二子排水樋門の土砂の撤去を要請しました。



質問する小堀市議

排水樋管(5カ所)周辺の浸水対策に約8億円

排水樋門(山王、宮内、諏訪、二子、宇奈根)をなぜ閉めなかつたのか!

住民説明会では「ゲートをなぜ閉めなかつたのか」と市の責任を指摘する意見が続出。共産党市議団と小堀市議は、国土交通省のガイドラインの改正を示して操作基準の見直しを市議会で

求め、石田県議は市の樋管ゲートの「操作要領」は第2条で多摩川の洪水などによる逆流を防御することを操作の目的としていると主張(このまちとともに 県政版No. 4)しました。

◆市がゲート操作手順を全面的に見直すことに!

これまでの「降雨やその恐れがある場合は、水門全開を維持する」から、「逆流時は閉鎖する」と改められました。



宇奈根排水樋門

◆短期対策(今年の台風シーズン前までの対策)

- ①排水ポンプ車を4台購入。1台持っているので、合計5台で5カ所を担当する
- ②各樋管に水位計、流向計、監視カメラを設置する。逆流を感知したらゲートを閉める。水位計などのデータは中部下水事務所などで見られるようになる。
- ③ゲートの開閉を電動化。停電時のため移動式発電機を配置。宇奈根、宮内はフラップ機構付きゲートに改良する(6月末までに完了予定)

◆中長期対策の方向性について

検証報告書は内陸部の降雨がある状況で、樋管ゲートを閉鎖した場合、雨水が低地に滞留するシミュレーションを行っています。この場合、市は、ポンプ場の新設が最も効果的としていますが、まとまった用地と長期にわたる工事が課題としています。

◎日本共産党は、土地を確保し、ポンプ場を急いで整備すること。市は雨水貯留池や管きよの整備を5年程度としているが前倒しを求める、当面の対策

として近くの学校や公園などに、雨水貯留施設を整備すること、今後マンションなど大規模な建築の際に雨水貯留施設を大きくとることを義務化すべきと提案しています。

多摩川の土砂の撤去を大規模におこなうこと引き続き国に要望していきます。

市は「検証報告書」の中で、「多摩川の流域雨量の予測が困難だった」「想定以上の水位となつた」としてい

ますが、共産党市議団は今回の対応は明らかに行政の過失があったと強く指摘し、「予測が困難」とせず、今回のデータを分析し、市内の影響を予測して水害対策を立てることを強く要望しました。



はたの君枝
(南関東ブロック)
衆議院議員

日本共産党は、国会・県会・市会、力をあわせてみなさんと一緒にがんばります